

日本初記録！フサカサゴの仲間を発見 「スズメイソカサゴ」と命名

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、鹿児島大学総合研究博物館と大分マリンパレス水族館「うみたまご」の研究チームが日本初記録のフサカサゴ科イソカサゴ属魚類を発見しました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

日本国内で琉球列島などに広く分布するマメサングカサゴ *Scorpaenodes hirsutus* (スコルパエノデス ヒルスタス) とされているものに2種が含まれていることを明らかにしました。もう1種はこれまで国内からは記録がなかった *Scorpaenodes kelloggi* (スコルパエノデス ケロッグアイ) と同定されました。

これまで上記2種の形態学的相違はあいまいでしたが、本研究でインド・太平洋広域（アフリカ東岸・紅海～ハワイ・仏領ポリネシアにかけて）から得られた125個体を詳細に比較検討し、頭部の棘の状態や計数・計測形質および色彩の19形質が両種を識別する新たな形質として有効であることを明らかにしました。

2種の形態学的相違を明らかにした上で、標準和名の検討を行い、マメサングカサゴという和名が提唱された際に用いられた標本が *Scorpaenodes hirsutus* であると特定されました。*Scorpaenodes kelloggi* には適用すべき和名がなく、本研究において、新標準和名スズメイソカサゴを提唱しました。スズメイソカサゴは最大体長4cmの小型種で、国内では伊豆諸島から鹿児島県、琉球列島に分布することが分かりました。

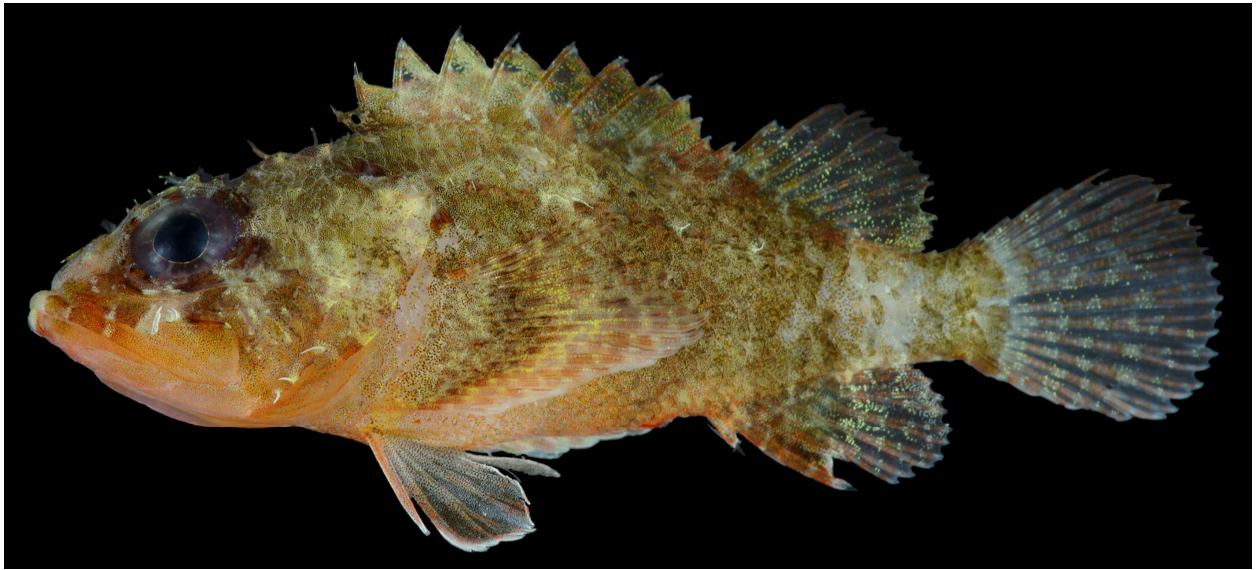
本研究の成果は日本魚類学会が発行する英文誌「Ichthyological Research (イクチオロジカル・リサーチ)」のオンライン版に2021年6月7日付けで掲載されました。

本研究は南日本の岩礁やサンゴ礁域における生態系を理解するための基礎的知見となります。鹿児島大学総合研究博物館では国内外の魚類多様性を把握するために、魚類の分類や系統、生物地理の研究を行っています。過去10年で111新種、108種の魚類の標準和名を命名しており、世界の魚類学における拠点としての役割を担っています。

Hoshino, K. and H. Motomura. 2021. Redescriptions of the Indo-Pacific scorpionfishes *Scorpaenodes kelloggi* (Jenkins 1903) and *Scorpaenodes hirsutus* (Smith 1957) (Scorpaenidae). *Ichthyological Research*, doi: 10.1007/s10228-021-00818-1 (14 pp)

【関連ページ】

鹿児島大学総合研究博物館 本村浩之教授 ホームページ
<http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/motomura.html>



スズメイソカサゴ *Scorpaenodes kelloggi* (鹿児島大学総合研究博物館所蔵)

【問い合わせ先】

鹿児島大学総合研究博物館 館長・教授

本村 浩之 (モトムラ ヒロユキ)

〒890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30

TEL : 099-285-8111

E-mail : motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp